

別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和4年度）に対する自己評価結果

都道府県名： **宮崎県**

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	
介護サービス基盤の充実	
目標を設定するに至った現状と課題	
<p>高齢者が介護の必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活できるようにするためには、県内全域で地域の実情に応じた介護サービスの提供体制を整備していく必要がある。特に訪問看護サービスは、在宅医療と介護をつなぐ大変重要な役割を担っており、今後、その提供体制の一層の充実を図っていく必要がある。</p> <p>また、居宅では介護の困難な重度の要介護者の増加や、高齢者のニーズが多様化している実態を踏まえ、各市町村計画を基に、地域の実情に応じた介護保険施設等を計画的に整備する必要がある。</p>	
取組の実施内容、実績	
<p>●訪問看護事業所の整備促進、基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護サービスの提供体制が不十分な地域に新たに訪問看護事業所を開設する事業者に対し、開設までに必要な初期費用に係る経費を助成・・・10事業所 ・既存の訪問看護事業所の基盤強化を図るため、訪問看護職員の新規雇用や看護職員の研修等に係る経費を助成・・・5事業所 <p>●地域密着型施設の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金を活用し、地域密着型施設の整備及び開設準備に係る経費を助成 	

自己評価

●主な居宅サービスのサービス量の計画と実績

(単位：回/年)

種別	令和4年度				令和5年度
	計画(①)	実績(②) (暫定値)	差(②-①)	対計画値(②) /①)	計画
訪問介護	4,077,760	4,109,944	32,184	100.7%	4,228,259
訪問看護	362,530	410,403	47,873	113.2%	374,564
通所介護	2,601,492	2,307,622	▲293,870	88.7%	2,662,577

●介護保険施設等の定員総数

(単位：人)

種別	令和4年度末		
	計画 A	実績 B	計画との差 B-A
特別養護老人ホーム	6,060	6,043	▲17
介護老人保健施設	3,273	3,223	▲50
介護医療院	211	211	0
介護専用型特定施設入居者生活介護	30	30	0
混合型特定施設入居者生活介護	1,435	1,380	▲55
認知症対応型共同生活介護	2,653	2,572	▲81
計	13,662	13,459	▲203

※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。

イ 管内保険者の自己評価結果の概要

●介護保険施設等については、一部の市町村では計画どおり整備が進捗しているものの、市町村が事業者の公募を行うも応募者がいない、事業計画の遅れ等の理由に加え、既存事業者の撤退等により、定員総数が計画値に達していない市町村もある。

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）

●居宅サービスについては、主なサービス（訪問介護、訪問看護、通所介護）はおおむね計画どおりに推移していると考えている。今後とも、市町村と連携を図りながら、計画に基づく市町村の取組を支援していく。

●介護保険施設等については、介護医療院及び介護専用型特定施設入居者生活介護は計画どおり推移しているが、以下の理由により、定員総数が計画値に達していないサービスがあった。
次期計画については、市町村と意見交換を行いながら策定を進めてきたところであり、引き続き、計画に基づく市町村の積極的な取組を支援していく。

【計画どおりに整備が進まなかった理由】

- ・市町村が事業者を公募するも、介護職員不足等により事業者の応募がない
- ・設計に時間を要するなど事業計画の遅れ
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営への影響を見極めるため、整備の見送り
- ・既存事業者の撤退